



Japan Society for Tobacco Control

日本禁煙学会

<http://www.jstc.or.jp/> E-mail desk@nosmoke55.jp
〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 30-5-201
Tel 03-5360-8233 FAX 03-5360-6736

内閣総理大臣 安倍晋三様

平成 29 年 8 月 1 日

一般社団法人 日本禁煙学会 理事長 作田 学
日本肺がん患者連絡会 会長 長谷川一男

臨時国会で、受動喫煙防止法案を骨抜きにさせない為に、

塩崎恭久厚生労働大臣の留任を望みます

記

塩崎厚労大臣の留任を願う署名活動につきましては、7月31日付のThe Japan Times誌に書かれていますし、

<http://oianews.com/indoor-smoking-ban-bill-stymied-by-ldp-resistance-ahead-of-olympics>

河北新報の社説にも書かれています（受動喫煙対策／首相は主体性発揮すべきだ）。

http://www.kahoku.co.jp/editorial/20170731_01.html

2週間という短期間で、一般社団法人 日本禁煙学会のホームページに掲載されただけで、じつに2116名が賛成のご署名をお寄せになりました。

さらに、国民の73.1%が厚生労働省の原案に賛成しております。

(川俣幹雄教授の1万人を対象とした国民意識調査より)

http://www.jstc.or.jp/modules/information/index.php?content_id=100

日本国民の健康にあずかっている日本医師会は230万名、日本看護協会は30万名、日本歯科医師会、日本薬剤師会とあわせて約300万名の、厚生労働省の原案に賛成する署名をわずか6、7月の2か月間で集められたと伺っております。

このことから、医師会をはじめとする日本国民総体が、厚生労働省の原案を待ち焦がれている事が明らかになりました。

その原案をおまとめになり、国民に提示されました塩崎恭久厚生労働大臣のご留任を求めるのはけだし当然のことではないでしょうか。

内閣総理大臣 安倍晋三先生におかれましては、どうぞこの国民の総意をお酌み取りいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

以上